

登録コード	J6380300	開講年度	2026			
授業科目	法曹への道Ⅱ				担当教員	丸橋 昌太郎 他
英文授業名	Advanced Seminar on Law				副担当	久保田 隆・赤川 理
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限 水曜・4時限 水曜・5時限	対象学年
講義室	経法403演習室		授業区分	演習	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】
	経法23初（2026改）・総合法律，経法23初・総合法律					
	法学の専門領域の基礎能力として，リーガルマインドを備え，現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な法学体系の基礎専門知識を身につける。				⇔	リーガルマインドを備え，現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な公法、民事法、刑事法に関する基礎的な法概念や理論、判例について説明することができるようになる。
	経法20加・総合法律					
	行政や企業などの法務の現場で，法学の基礎理論がどのように機能しているかを理解した上で，実際に法的な問題点を見つけ出し，分析し，法令の正しい理解に基づいて，基準の適用，書類の作成，ルールの設計などを行うことで，法的な解決策や予防策を実践的に企画・立案・実行できる能力を身につける。				⇔	法務の現場において法律学の様々な分野の基礎理論がどのように機能しているかを理解した上で，実際に法的な問題点を見つけ出し，その解決・予防方法の内容や実践の過程について説明することができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム	ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース					
(4)授業の概要	本特別演習は、主に法曹プログラム（法曹コース）の学生を対象として、法曹養成制度を理解するとともに、法曹として求められる各分野の判例・事例の発展的研究、起案練習等を行うものである。					
(5)授業計画	1 公法系事例課題 1 2 公法系事例課題 2 3 公法系事例課題 3 4 公法系事例課題 4 5 公法系事例課題 5 6 民事系事例課題 1 7 民事系事例課題 2 8 民事系事例課題 3 9 民事系事例課題 4 10 民事系事例課題 5 11 刑事法系事例課題 1 12 刑事法系事例課題 2 13 刑事法系事例課題 3 14 刑事法系事例課題 4 15 刑事法系事例課題 5（授業アンケート実施）					
(6)成績評価の方法	課題に対する取組等と論述試験を総合的に評価する。					
(7)成績評価の基準	授業目標の達成度を測るため、課題 50％、期末試験 50％の割合で評価する。 合計60点以上であれば、単位を認定する。 成績は、90点以上の水準（全ての問題に対して特に適格な解答）にあれば『卓越している』、80点以上の水準（上記に準ずる程度の解答）にあれば『かなり上にある』、70点以上の水準にあれば『やや上にある』、60点以上の水準（授業で解説した基本的事項に関する理解が認められる）にあれば『その水準にある』とする。					
(8)事前事後学習の内容	授業中に指示する。					
(9)履修上の注意	本特別演習は、法曹プログラムの学生を主に対象としているが、プログラムに所属していなくても、法科大学院への進学を希望する場合には履修を認め得る。履修希望者は、ガイダンスに出席し、担当教員に相談すること。外部講師の日程についてはガイダンス時に知らせる。本特別演習は、原則、水曜日の3限～5限の間の2コマ連続で行う。各回の開始時間などはeALPS上で連絡するので、eALPSを随時確認すること。					
(10)質問,相談への対応	授業終了後に対応する。					
【教科書】	授業中に指示する。					
【参考書】	授業中に指示する。					